

2011. 10. 25

翁委員意見

- 仕組みづくりについて：医療、農業などの分野については、野田内閣として経済活性化のために、これらの分野についても規制改革を進めるとの明確な意思を示していただき、そのための仕組みづくりを政治主導で作ることが必要であると考え。たとえば、国土交通省で航空政策の自由化が急速かつ顕著に進んだ例にならい、厚生労働省と農林水産省においても、野田首相の主導により、当該省の担当大臣—規制制度改革担当大臣が連携し、規制・制度改革を進める「核」となる官僚チームを当該省内に作り、そこと規制制度改革分科会、およびそこに置く専門家を集めたワーキングチームが連携しながら進めていくことなどが考えられる。
- 規制・制度改革会議側の体制準備について：医療、農業については、従来の規制制度改革の取り組みと残されている今後の課題について、分科会としての共通理解を持ち、今後の進め方について探るため、できるだけ早い段階で専門家からのブレインストーミングの機会を設けてはどうか。また、重点的にこの分野の規制制度改革を進めていくとの政治的意思が明確になれば、早急に会議の中にそのためのワーキングチームを作ることが必要となると考える。
- 制度改革の内容について：経済活性化のためには、急速な円高に伴う空洞化問題への対処が急がれる。中でも最近の若年層の雇用情勢は深刻であり、少子化に歯止めをかけるためにも、若年層の雇用機会を確保することが喫緊の課題となっている。そのためには、多様な働き方を可能にするなど、若年者雇用を妨げている多くの規制や制度を見直していくことについても、会議として重点的に取り組んでいくことが必要であると考え。

以上